



「こども・若者★意見箱」に寄せられたこども・若者からの声



令和7年（2025年）11月から令和8年（2026年）1月までの間に、100人のこども・若者のみなさんから声が届きました。
 ありがとうございました。ここでは主な声を紹介합니다。

(単位：人)

投稿者内訳	
小学生 下学年（1～3年生）	60
小学生 上学年（4～6年生）	26
中学生	7
高校生	1
大学生（短大・専門含む）	1
社会人	5
その他	0

(単位：件)

投稿内容内訳	
子育て	11
くらし	27
まちづくり	56
その他	13

※一度に複数内容を投稿している場合があります。

※「その他」には、学校や部活動、イベントに関する投稿がありました。

たくさんの声や想いの投稿ありがとうございました。
 福島市を良くしたいと想う声や身近な良いところの投稿などうれしいです。私たちもその想いを受けてえがおあふれる福島市をつくっていきます。



No.	属性	こども・若者からの声	市の考え方	詳しくはこちら
1	小学生 下学年	福島市がゴミなどをポイ捨てないきれいなまちになったらいいと思う。	みなさんの、きれいな住みやすい街にしたいという気持ちが伝わってきて、とてもうれしく思います。ポイ捨てされたゴミを見ると、とっても残念な気持ちになりますよね。「ごみは持ち帰る」「落ちているごみは拾う」という誰にでもできる心がけひとつでまちはきれいになります。そんな大切な気持ちを家族やお友達にも広め、みんなで一緒にきれいなまちをつくっていきましょう。また、市では、市民団体やサークル、学校や会社で参加する「ふくしまきれいにし隊」の取組みを進めておりますので、ぜひ、一度調べて見てください。	(市HP) ふくしまきれいにし隊
2	小学生 下学年	みんなが笑顔でいたらいいなと思います。私たちの学校の良いところは、みんなが優しくしてダメなことをすると、すぐ謝れることです。そして、あいさつをみんなするところです。	自分たちの学校の「良いところ」を教えてもらえて、とても嬉しいです。市でも「福島市子どものえがお条例」をつくり、みんながえがおになる地域づくりを進めています。ぜひ、一度調べて見てください。これからもお友達や先生、地域の人といっぱい話したり、色々な場所に行き、学校や福島市の良さを発見してください。そして、発見した時には、また教えてください。	(市HP) 福島市子どものえがお条例

No.	属性	こども・若者からの声	市の考え方	詳しくはこちら
3	小学生 かがくねん 下学年	わたしは本が大好きです。こむこむの図書館からいつも本をかりています。でも、もっとたくさん本があって、広い図書館があるといいなあと思います。	図書館の本をたくさん読んでもらえて、とても嬉しいです。図書館をもっと良くするための話し合いをする時の参考にしますね。 市でもは、毎月24日を「ふくしま読書の日」として、読書はもちろん、家族や友達と本の話をしたり、図書館や書店へお出かけしたりと、本に親しみを持ってもらう日をつくっていますので、これからも本となかよくしてください。 市には、こむこむ館の中にある子どもライブラリーのほか、本館、西口ライブラリー、19箇所の学習センターに、約90万冊の絵本や読み物・調べ学習の本・雑誌などいろいろな本をそろえています。ぜひ、他の図書館にも足を運んでみてください。 また、市のホームページから本を探して、子どもライブラリーや学習センターへ取り寄せすることもできます。	(市HP) 市立図書館
4	小学生 じょうがくねん 上学年	私の小学校には、吹奏楽部がありません。今まで、吹奏楽部がある小学校がとてもうらやましくて、転校したいくらいでした。 しかし、今年度から福島市教育委員会主催の吹奏楽アカデミーに小学生も入ることができるようになり、入ることがとても楽しみです。 来年も入るように継続して欲しいです。	想いを教えてくれてありがとうございます。やりたいことができないことは辛かったと思います。 市では、地域で活動している大人の人と協力し、他の学校のお友達と一緒に部活動の練習を行ったり、通っている学校にない部活動にチャレンジしたりすることができる機会づくりを行っています。 吹奏楽アカデミーも、中高生に加えて今年度からは小学5・6年生も一緒に演奏することができるようになりました。来年度も継続していく予定です。 今後も、地域や企業の人たちと協力して、みんなの夢やチャレンジを応援していきます。	(市HP) 部活動の地域移行（地域展開）
5	小学生 じょうがくねん 上学年	いろいろな仕事につけるような街になったらいいなと思います。 例えば、その夢を叶えるための学校や体験イベントなどがあるととてもいいなと思います。	市にも、多くの企業があります。みんなの将来のことを考え、やってみたい職業の会社見学や体験してみたいことができるよう、企業や事業所にもお願いしていきます。 中学生になると、授業の中でも実際に自分の興味がある企業などへ行き職場体験を行う時間もあります。 また、市では「福島市名工展」を開催し、職人の技に触れるものづくり体験イベントの実施のほか、協力してくれる企業にお願いし、学校への出前講座も実施しています。 みんなの夢やチャレンジを応援する機会を企業の皆さんと、一緒につくっていきます。	(市HP) 第24回福島市名工展を開催しました!

No.	属性	子ども・若者からの声	市の考え方	詳しくはこちら
6	小学生 小中学生 上学年	<p>タブレットが重いです。使わない教科書も持ち帰るように言われます。肩も痛いし本当に辛いです。家ではかかったら6.5キロもありました。私は福島に引越してきて、前の学校はタブレットが重いから教科書の持ち帰りは自由で、自分が使わうときだけ持ち帰っていました。だから、自由にして欲しいです。</p>	<p>教科書とタブレットを持ち運びすると重いですよね。特に暑い日はランドセルがより重く感じると思います。それでも毎日頑張って登下校していることはとても偉いと思います。教科書やタブレットの持ち帰りについては、みなさんが安全に登下校できるように学校の先生と相談しながら工夫していきたいと思います。ランドセルが重くて大変な時には、持ち帰る物について担任の先生にもう一度相談してみてください。</p>	
7	小学生 小中学生 上学年	<p>もうすぐ中学生になるけれど制服を着るのがいやだと思っています。いままで制服がなかったのですが、これから毎日制服を着るのは苦しそうだし、苦くばってくださいと思っています。もっと自由な服で学校に行きたいです。</p>	<p>もうすぐ、中学生になるとのこと、おめでとうございます。学校やお友達も変わり、楽しみな反面心配なこともあるのではないかと思います。制服についても、初めてのことで嫌だなと思うことがあると思います。素直な気持ちを伝えてくれてありがとうございます。制服にも役割と目的があるのを知っていますか。一つ目は「生徒」としての意識を高め、学習モードへ切り替えること、二つ目は、学校の一員としての自覚や連帯感、服装による経済的な差を目立たなくすることです。ほかにも、不審者の侵入防止や、生徒の所在確認にも役立つことがあります。すぐに、制服のデザインを変更することは難しいですが、ぜひ、入学してから同じ想いをもっているお友達と一緒に生徒会や学校の先生に伝えてみてください。</p>	
8	小学生 小中学生 上学年	<p>僕が通っている学校や他の学校にも、聴覚などが敏感な子が安心できるような、カームダウンスペースやイヤーマフの貸出などを行なってほしいです。</p>	<p>みんなそれぞれ違った、苦手なこと（音）や困っていることがあると思います。そういったところに気づき、想いを伝えてもらえてうれしいです。ご意見いただきました「カームダウンスペース」としては、空き教室や体育館の控室など、学校の状況に応じて確保しております。また、「イヤーマフ」についても、貸出用のものを準備している学校も一部ありますが、すべての学校へは置いておりません。直接 身に着けるものとなることから、衛生上のことなども考えながら検討していきます。お友達の悩みごとなどについても周りのみんなが理解して、みんなで助け合い、支え合う福島市にしていきたいでしょう。</p>	

No.	属性	子ども・若者からの声	市の考え方	詳しくはこちら
9	小学生 中学生	買い物ができる大きなスーパーやデパート、家の近くにコンビニエンスストアをつくって欲しい。	<p>市に、大型ショッピングモールや家の近くにコンビニエンスストアがあったら、とても便利だと思えます。</p> <p>しかし、お店を出す人は、どこにお店を出したらたくさんのお客さんが来てくれるか、たくさんの商品が売れるのかなど、いろいろなことを調べて場所を決めています。そのため、お店を出してほしいと言っても、それだけでは出してもらえないのです。市をもっと魅力的なまちにして、お店を出したいと思ってももらえるまちを一緒につくって行きましょう。</p> <p>これからも、みなさんの良いアイデアも教えてくださいね。</p>	
10	中学生	学校（部活）からの帰り道が暗くて怖いので、通学路に街灯を設置して欲しい。	<p>まちのことについて、ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。</p> <p>特に冬は暗くなる時間がはやく、街灯が少ない道を帰るのは怖いですね。</p> <p>通学路の対策は、学校や地域などからの要望に基づき、現地確認をし、必要に応じて通学路を優先に設置を進めております。今回は、設置希望箇所がわからないため確認することができませんが、通学路については、学校・警察・国・県・市等の関係者が集まって5年に1回のローテーションを基本に合同点検をしています。詳細の場所については、学校の先生にもお話ししてみてください。</p> <p>みんなが安心して学校に通えるように、通学路の安全対策に努めていきます。</p>	(市HP) 通学路における交通安全の確保
11	高校生	歩道がボコボコで自転車のタイヤが曲がりました。みんなが使う歩道（通学路）の整備をしてほしいです。	<p>まちのことについて、ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。ケガなどはなかったでしょうか。</p> <p>自転車で通る時に、道にデコボコがあったりすると、危ない時や困ったりしますよね。</p> <p>市でも道路のパトロールを行ったり、地域のみなさんからいただいた情報をもとに、危険な場所や傷んでいるところを確認しながら、修理をしています。</p> <p>今後も引き続き道路の状態には気を配りながら、安心して通学・通行できるよう取り組んでいきますので、気になることがありましたら、また教えてください。</p> <p>なお、市が管理する道路や公園等の不具合について通報を受付する「市民通報システム」もありますので、こちらもご活用ください。</p>	(市HP) 市民通報システム

No.	属性	子ども・若者からの声	市の考え方	詳しくはこちら
12	だいがくせい 大学生	<p>福島市には音楽のように表現を楽しむ若者や市民がたくさんいます。しかし、楽器やダンスの練習などができる公共の場はほとんどありません。人々が集まり練習ができる場所が必要だと感じます。ただ練習するだけでなく、他の人と楽しみながら日常の文化活動を支える環境があれば、豊かなまちづくりにつながるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。 新たに完成いたしました「福島市市民センター」内には大小のホールや音楽ルームなどありますので、練習をする際にはご活用ください。その他にも、市内に15箇所の学習センターもありますので、楽器の使用については、お近くの学習センターに問い合わせしてみてください。 また、現在進められている福島駅東口再開発事業の公共工エリアでは、市民活動の発表会や展示会ができる多目的ホールの整備などを予定しています。 これからも、多世代が集い、にぎわい・文化・つながりが生まれるそんな空間を創出していきます。</p>	<p>(市HP) 福島市市民センター</p> <p>(市HP) 東口再開発と東西一体のまちづくりに関する特設ページ</p>
13	しょうがくせい 小学生 ちゅうがくせい 中学生 こうこうせい 高校生 しゃかいじん 社会人	<p>室内遊び場や体を動かせる公園など、遊ぶ場所を増やして欲しい。</p>	<p>すぐに、新たに屋内遊び場をつくることは難しい状況にありますが、天候に左右されず室内で遊べる施設が欲しいといったご意見があることは、市としても認識しています。 そこで、福島駅東口にある「こむこむ館」をもっとワクワクする場所にするため、みんなが思いっきり体を動かして遊び回れる遊具や、遊びながらいつの間にか物知りになれちゃう不思議な仕掛けを、館内にたくさん造りたいと思っています。令和11年度（2029年度）には完成する予定なので、新しい「こむこむ館」で遊べる日を楽しみにしていただいね！ また、屋外での遊び場の確保についても、子どもたちの健やかな成長にとって非常に大切となりますが、新しい公園をつくる時には、みなさんが安心して楽しく遊べるように、安全性も考えて場所を決める必要があります。完成した後も、遊具が壊れていないか、危ない場所はないか調べたり、直したりしてずっと管理する必要があります。 みなさんが安心して遊べるように、将来のことを考えながら、遊べる場所を増やせるように、工夫していきます。</p>	<p>(福島市子育て情報サイト) 遊び場</p>

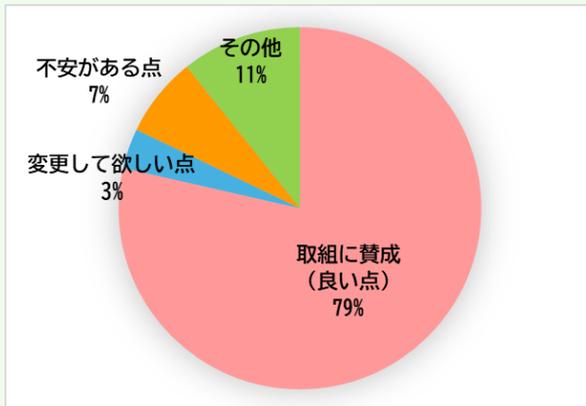
No.	属性	子ども・若者からの声	市の考え方	詳しくはこちら
14	社会人	<p>福島競馬場の裏の通りを通勤路にしています。小学生が徒歩や自転車で多数通学路として利用していますが、歩道がなくなかなり危ないです。歩道を作って欲しいです。</p>	<p>このたびは、通学路の安全対策について、貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>通学路における交通安全の確保については、各学校から報告のあった通学路の危険箇所について、学校・警察・国・県・市等の関係者で「通学路安全推進会議」を組織し、定期的な合同点検を行い関係機関が連携を図っています。令和6年度からは、中学校の通学路についても合同点検を実施しているところです。</p> <p>当該道路の歩道整備については、周辺土地利用の状況や用地取得の協力など、新たな歩道の設置は難しい状況ですが、必要な個所に対策を行うことで、児童生徒が安全に通学できるように努めています。</p> <p>これからも、みんなが安心して学校に通えるように、みなさんの声を大切にしていきたいと思います。</p>	<p>(市HP) 通学路における交通安全の確保</p>



ここに掲載されていない意見についても、すべてに目を通しています。
みなさんからの想いを受け止め、今後の福島市のまちづくりの参考とさせていただきます。一緒に考えていきましょう。

「子ども・若者★意見箱」に対する意見 (取組に対する感想や改善点など)

投稿いただいたみなさんに「子ども・若者★意見箱」の取り組みに対してお聞きしました。



<主な意見>

●取組に賛成(良い点)

- ・聴いてくれてうれしいです。(小学生)
- ・意見を聴いてくれて、ありがとうございます。(小学校)
- ・小学三年生でもわかりやすく、簡単なアンケートでした。ありがとうございました。(小学校)
- ・ずっとこのようなものがあればなあと考えていたので、とてもよかったです。(小学校)
- ・子どもにもしっかり聞いてよかったです。(小学生)
- ・今まで意見を出したくても気軽に伝える手段がなかったので、とても良いと思います。(社会人)
- ・市民の声を聞いてくれるこのような取組は、とてもありがたく継続してほしい。(社会人)

など

●変更して欲しい点

- ・書いている文字数がわかるようになると、とても嬉しいです。(中学生)

●不安な点

- ・本当に意見が通ることはあるのかが、気になる。(小学生)
- ・良い事だとは思うけど、私達市民が書いたことを読んでくださっているか、気持ち伝わっているのかが不安です。(中学生)

●その他

- ・学校にこの取り組みのチラシを配布してくれれば、小学生も意見しやすいと思う。(社会人)
- ・小学校や中学校で情報を集めてはいいかでしょうか？(小学生)

など